

知事と区市町村長との意見交換（立川市）

令和1年10月3日（木）

13時40分～14時00分

○行政部長 それでは早速ではございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 今日はお忙しいところ、都庁までお越しいただきました。清水市長にはこの夏も何度もお目に掛かって、また大変いつも賑やかなお祭り等で大変活気あるまちという認識がございます。

今日は長期戦略を描くということから立川のビジョン、そして今ある課題等も伺わせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○行政部長 それでは清水市長、よろしくをお願いいたします。

○立川市長 改めて、こういう時間を取っていただきましたこと、心から御礼を申し上げます。限られた時間でございますので、端折ってお話をさせていただきますけれども、2つの課題点と言われますと、私ども立川市にとりましては1つには何と言いましても、いわゆるハードな部分での交通網の南北交通の整備。これが何としても手に掛けていかなければならない課題であるなというふうに思っております。特に都市計画道路が立川の場合には南北繋がっていない部分が大変多くありまして、例えば一番右の縦の赤の点線ですね。都市計画道路3・3・30号線。これはもうお陰様で、地元説明に入りまして、何とか南北に繋がって中央高速への接続が出来る可能性が増えてまいりました。

しかしながら、朝夕の交通渋滞は中央線、それから青梅線とを真ん中に挟んで、南北のそのアクセスが非常に悪いものですから、大変その混雑の中で苦勞をしている来客が多いということでございます。

特に立川の場合には、例えば家具屋さんのイケアとか、そういうのは立川に基地跡地の方に進出してまいりまして、神奈川県の方からお客さん見えるんですよ。というのは八王子、横浜方面へ行くよりも、圏央道を使って立川へ来た方が時間的に早いんだというふうなことで、結構神奈川県からのお客さんが増えております。

そんなこともありまして、何としてもその3・3・30、あるいは3・1・34号とか、いくつもの都市計画道路、鉄道の東西の鉄道を挟んで南北のアクセスを何としても築き上げていただきたいなと思っております。

1つだけの中で気になっておりますのは、東京都が国から借り上げていただき、買収したんです。1万5,000平米のいわゆる防災倉庫。これは私どもも少し起震車の駐車場等にお借りをさせていただいているんですが、まだまだうまく機能できていない。いざという時の食糧とか、そういう形でお買い上げいただいたのを機能をあまり果たす状況にはなっていないということございまして、これが一番は何かと言うと、南へ伸びる道路が中央道や甲州街道等に全く接続が出来ていないということなんです。

ですから、ここら辺も機能が発揮できるためには、防災倉庫から中央道、あるいは甲州

街道等へ接続できる都市計画道路が必要であるなというふうに思っているところでございます。1点目につきましては、このことでございます。

それから2点目につきましては、立川の賑わいということで考えてございまして、立川は立川だけで賑わいをつくるわけにはまいりません。多摩全体の後押しがないと、どうしても立川の賑わいは難しいということでございまして、今、立川駅の南口のモノレールの駅の所に、東京都との合築で、国分寺にあったしごとセンターを立川に移転して来るということで、立川市との共同ビルを今建てさせていただいております。これは地下1階から地上2階までは立川、そして地上4階から7階までが東京。駅のフロアに接続する3階は都と市と共同で使っていこうというふうなことなんですけれども、実はここの3階の所に多摩の情報発信基地をつくらいかかと、こう思っております。

今は広域の情報発信をきちんとやらないと集客でも、あるいは賑わいづくりでもなかなか広域の取組でないと難しい。そういう情報の中で多摩26市が共同で多摩地域の情報発信基地、観光情報あるいは仕事情報、何でもいいんですけども、情報発信基地のベースにしていったらどうかということ考えております。

このあいだも宮坂副知事さんが見えいただいた時に、ちらっとそんな話はさせていただいたのですが、1市だけで情報発信をやるというのはもったいない話。かと言いながら26市だけで、それだけの設備が安定して運営できるかという、なかなかそれも難しい面があると。

ここは一つ、東京都に出張っていただいて、共同での情報発信基地ができればよろしいかなというふうに考えております。まだこのことについては種まきのレベルにまではいつてないような状況ですけれども、多摩の20年先、30年先を考えますと、何とでもこれは必須の課題ではないかなと、私自身は考えているところでございます。ぜひ御協力をいただければというふうに思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○知事 ありがとうございます。立川は、今、市長の方からありませんでしたが、これからのモノレールの話とか、それから防災拠点になっている等、果たしていただく役はたくさんございます。

広域的な交通を円滑化すること、それから防災性を向上させること。多摩地域にとりましてはお話のように、南北とそれから東西の交通のネットワークを整備するというのは重要かと思えます。

優先整備路線の事業化に向けて、都としても取り組ませていただいているところでございますし、また、特に今お話ありました、広域防災基地があるということから引き続き道路整備の方は進めてまいりたいと考えております。

○副知事 立川駅の南口に都と立川市さんとの合同で、令和3年度を目指して地上7階建ての、今、ビルの建設計画がございまして。お話のとおり、3階に地域情報発信スペースという機能を持たせたいということで御相談はしているところでございます。

情報発信、立川の駅にもいろいろやっております、あれもインバウンド、福祉重視とかいろいろ工夫をしておりますけれども、やはり今情報発信のやり方というのはどんどん、

日進月歩と言うんでしょうか、映像をより活用するとか、SNSであるとか、バーチャルリアリティとか、もういろいろな情報発信の手法もどんどん新しくなっておりますので、やはり立川というのは多摩全体の情報発信をする素晴らしいポテンシャルを持ってる所であると思いますので、新しい時代にふさわしいその情報発信の在り方というものを、またいろいろ御相談しながらハード、ソフト両面でちょっとこれから検討させていただきたいと思っております。

○行政部長 市長、いかがでしょうか。

○立川市長 ありがとうございます。後段の方の例の、私どもは区画整理を南口でやってきたものですから、あそこは58街区という所なんですね、情報発信の基地をつくらうという所。

ここにつきましては、私どもが立川にそれをつくっていただくんであるならば、いささかの担ぐ力は余分に用意しなければいかんのかなとも思っております、それをやることによって多摩地域が一本にまとまっていくということであるならば、これ以上の投資はないなという、私も腹は決めているつもりでございます。多少のことは積極的に担いでまいりますということでございますので、ぜひお力添えを。

幸いなことに、新しい副知事がまさか私どもの話を聞いてもらうために就任なされたのかと思うぐらい、ぴったりのタイミングでした。私はそういう感じまで思うぐらいにぴったり合ったんです。大変嬉しい話で、多くの人目が立川に目を注いでいただいているのかなというふうに思っております。余りはしゃぎ過ぎないように、しっかりと地面を見つめながら前へ歩いて行きたいなと思っておりますけれども、この話はぜひ前向きに取り組んでいただければありがたいなというふうに思っております。

○行政部長 もし、あれば事前にいただいた矢川の踏切の解消の話ですとか、その辺のお話をいただければと。南武線です。

○立川市長 南武線、お陰様でようやく、いわゆる南武線の立体化の話なんですけれども、なかなか国立の所でストップしております、この度国立さんにも腹を決めていただいて、いいですよということになりました。もう20年来の懸案がようやく解決できたということで、前に進んで行けるなというふうに思っております。

これによって南北の交通の円滑化は飛躍的に推進していけるのではないかなとは思っているんです。私どももしっかりとやってまいりたいなと思っておりますし、また、早めにきちんと先が見えないとまちづくり、ハードのまちづくりの面でなかなか地域住民の皆さんに説明するのが難しくなってしまうものですから、きちんとした方向性を出していただいたことにつきましては、本当にありがたいというふうに思っております。今後もぜひお力添えを賜りたいというふうに思っているところでございます。その他、いや、たくさんあることはあるんです。ほとんどが都計道が多いんですね。5、6本。東西もあって、南北が3本あって、4本あるんですね。都市計画道路3・3・3号線というのは一番北側東西ありますけれども、一部は拝島駅の方のそこら辺の工事が私が子供の時にやってたんですよ。高校生の頃に工事してたところなんですね。ですからもう50年近く前の話なんです。

それが今、真ん中がストップしておりまして、大きな懸案にはなっているんですけども、ちょうど西武線が引かれまして、大体西武線の立川市内にある駅につきましては、駅前広場でありますとか、ロータリーがほぼ整備できまして、かなり利用が増えてまいりました。

将来的には大変期待の持てる沿線の開発であったかなというふうに思います。ようやくそのようなレベルになってまいりました。ぜひここでもう1本道路を整備していただけると、より一層の充実度が増してくるのではないかなというふうに期待をしているところでございます。

近々、住民説明もというふうな噂をちらっと聞いておりますんで、ここら辺少し期待をしているところでございます。

それから知事からも今お話をいただいてありがたいなと思いましたが、例の倉庫の関係ですね。本当にあの倉庫はあのままだと動きがつかなくなる、いざという時に何かあっても完全に動きがつかなくなっちゃうような状況でございます。

何年か前の東北大震災の時も、例えば電車が止まったんですね。電車が止まったら踏切が下りるわけですよ。踏切が下りるものですから、帰宅困難者が立川駅の南口に体育館があったりするものですから、そちらへ避難されたと。毛布を運ぶ、なにがしかの食料を運ぶのにも、実は踏切の所まで行って、車から降ろして、手で運んで、反対側へ持って行って、そして避難所へ運ぶというふうなことがあったんですね。

ですから、いわゆる都市計画道路さえ出来て南北の交通が円滑であるならば、そんな思いはしなくても、もっと十二分に困難者の皆さんに様々な提供ができたということがありまして、今度また大規模な災害があると、今度もまたそんな形を取らざるを得ないのかなと思っておりました。

一刻も早い、一番は道路整備ということになりましようけれども、ぜひこれはお願いしたいなと思っております。

それぞれ財政的な面でも予期していないこともあったりということもあるものですから、なかなかあれもこれもあれもこれと言えばいいというものではないだろうなというふうな思いを私自身も持っております、要は矢でも鉄砲でも数打ちゃ当たるなんていう、そんな失礼なものはいいたくないものですから、用意してきたものだけしっかりと向き合っていただければありがたいというふうに思っておりますんで、どうぞよろしく願いいたします。

○知事 ありがとうございます。これからもやはり交通という、この人々の足を確保するということの重要性和、いざとなった時にきちんと機能するこの防災拠点となる、それを念頭にしながらいろいろまた絵を描いて、共に進めていきたいと思っております。

なお、東日本の時に、大震災の時に確かに鉄道が動かないのに踏切だけは閉まってしまったと。あれ、私もそこを調べまして、当時ですね。電力系統が違うんですね。その地域の電力を引っ張ってきてる踏切があったり、そうでなかったりというので、結構バラバラだったんですけども、それはきちんといざといった時には踏切はちゃんと機能するよう

にと、確保できるようにということで、確か整備したはずであります。あれ本当に、だから計画停電があった地域は下りちゃったまんまになって、通れなくなってしまったんです。通せんぼになってしまったんですよね。

そのようなことで、大分整理はできてるかと思いますが、いざという時には動くものが動かないと。まず念頭はそういうふうには頭に刻んだうえで、そうならないためにはどうするかという、そういう準備が必要だと思っておりますので、やはり立川にこの広域防災倉庫を置いてあるのが逆に陸の孤島になって、取りに行くのだけで大変だったら本当に機能しませんので、そこはしっかり皆さんと共に進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

○行政部長 それではそろそろ時間になりますので、本日の意見交換はこれで終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。